

# しゅん工・操業に向けた様々な取り組み

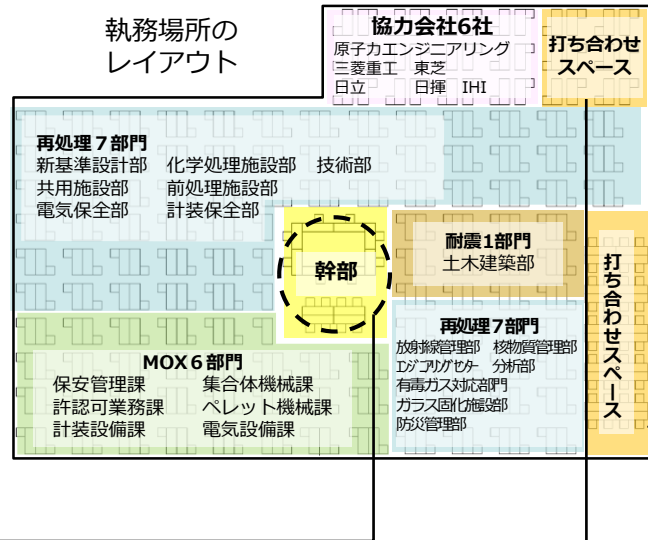
<設工認対応の体制強化>

12月1日から設工認対応者のコミュニケーションと作業性の向上のため、これまで複数の職場に分散していた21部門の社員と6社の協力会社の方々、計400名が一堂に会して作業を行えるよう、執務場所を集約しました。

設工認対応者が同じ場所に集まり、同じ認識のもとで、同じ目的に向かって仕事をするすることで、設計方針を全員で共有でき、事業部にまたがる調整や部門間の連携を速やかに行い、責任者が常駐することで相談や確認がしやすい環境となりました。



執務場所の様子



設工認総括責任者を中心とした幹部の打ち合わせの様子



再処理部門とMOX部門との打ち合わせの様子

設工認総括責任者を中心とした再処理・MOXの幹部が毎朝集まって、設工認全体の進捗状況を確認しています。

様々な部門の社員や協力会社の方々が、さっと集まって、情報共有や資料の確認が容易にできるようになりました。



当社と協力会社との打ち合わせの様子

今後、この1年間経験してきたことを活かし、改善・強化した体制のもとで、一日も早い認可取得を目指します。